

「生活排水対策」と「特養申込窓口一元化」 地域の声を議会に届ける！

川崎市議会議員 矢沢たかお

3月15日に閉会した市議会第1回定例会で取り上げた「生活排水対策」と、以前から取り組んできた「特別養護老人ホームの申込窓口一元化」の2点について報告させていただきます。

もっとキレイな河川に！

排水は通常、公共下水道で処理されますが、下水道がつかっていないアパートの浄化槽が問題で取り上げるきっかけになったのは、地域からの相談でした。宮前区内のある生産緑地で、生活排水が畑の中を通って垂れ流しになっていた事案があり、調査を開始。生活排水を併せて処理する「合

併処理浄化槽」(以下、「合併」)の2種類があり、今回のアパートは前者の「単独」であり、生活排水が垂れ流しの状態でした。「単独」は平成13年の法改正で新設が禁止に。市は「単独」から「合併」への転換等に努めることになっていきます。私が単独」による環境負荷の影響と、転換促進に向けた取り組みを伺ったところ、

水質環境の改善に向けた取組みは様々進んでいますが、生活排水対策については一層強力に推進していく必要があります。
**特養の待機者
実態に即した数に**

市内特別養護老人ホームの待機者について、市は4822人(平成28年4月)と公表していましたが、施設側から「入居希望者がいない」という声があったため、実態把握の必要性を議会で初めに提言。「申込窓口とシステムの一元化」を提案し、実現しました。最新の情報では、一元化した後の待機者は2570人(平成31年4月)で、私が

当時(平成28年)と比べ、約半数です。施設増が悪影響を及ぼすだけでなく、「多額の税金を投じる以上、実態を正しく把握する必要があります」という観点で取り組んできたものです。特養新設に係る次期計画にしっかりと反映されるよう注力していきます。



矢沢たかお
●川崎市宮前区初山生まれ(33歳)
菅生小、菅生中卒 / 法政大学
第二高等学校卒 / 法政大学
情報学部卒 / 商社系 / IT企業
2019年4月2期自当選
事務所
宮前区初山1-20-12
Tel 044-976-2727

あることが明らかに。転換等を促す積極的な取組みが行われていなかった不十分な対応が露呈しました。

市内特別養護老人ホームの待機者数

